

平成26年3月：第388回 大野市議会定例会

代表質問 3月10日（月） 午前

質問者	質問概要
川端（新生おおの）	<p>1 市長就任2期8年間の自己評価について</p> <p>○ 2期8年間に取り組んださまざまな施策を振り返り、自己評価はどうか。</p>
	<p>2 平成26年度当初予算編成について</p> <p>○ 健全財政の維持が危惧される中、現在の市の財政状況と将来にわたる健全財政の維持について、どのように考えて当初予算を編成したのか。</p> <p>○ 市長が12月議会で答弁した、大野市が今後さらに強く推し進めなければならない課題や新しい課題について、どのように当初予算案に反映したのか。</p>
	<p>3 行政改革について</p> <p>○ 来年度には、新たな行政改革大綱の策定に取り組むとのことだが、これまでの成果を踏まえ、どこに力点を置いて策定するのか。</p>
	<p>4 越前おおのブランド戦略について</p> <p>○ 観光入り込み客数193万人の目標を達成するため、結の故郷（くに）越前おおのブランドをどのように広く市民に周知し、市内外に情報発信するのか。</p>
	<p>5 災害に強いまちづくりについて</p> <p>○ 平成26年度には地域防災計画の改訂作業と総合防災マップの作成を進めるとのことであるが、計画の改訂に当たり、どこに重点を置き、また留意して作業に当たるのか。</p> <p>○ 地域の消防・防災力強化のため、大野市消防団では女性消防団員を募集したところであるが、女性消防団の役割と、市長が女性消防団に期待するところは。</p>
	<p>6 人口減少について</p> <p>○ 人口減少に歯止めをかけるため、全庁体制で職員が一丸となって臨むべきと思うが、市長の考えは。</p>
	<p>7 高齢化に対する市の取り組みについて</p> <p>○ 高齢化が進む中、介護予防の充実や地域での支え合い、医療と福祉の連携などがますます重要になると考えるが、大野市の高齢者福祉推進の指針となる「越前おおの高齢者福祉計画」の策定に当たり、どこに重点を置くべきと考えるのか。</p>
	<p>8 農業行政について</p> <p>○ 来年度の農産物の総ブランド化を進めるための具体的な取り組みは。</p> <p>○ 平成21年4月に設立された越前おおの農林楽舎が農産物のブランド発信に果たす役割について、これまでの成果を踏まえ、今後の方向性についてどのように考えているか。</p>

9 木質バイオマス発電所建設について

- 新聞報道によると、年間10万立方メートル以上の木材が必要とのことだが、燃料となる間伐材の調達はどのように考えているか。
- この発電所の廃熱を利用して農業用ハウスでの農作物の栽培なども考えているとのことだが、市長はどのようなイメージを持っているのか。

10 中心市街地の活性化の取り組みについて

- 中心市街地活性化の起爆剤、拠点となる施設の整備が必要と思われるが、ハード整備についてどのように考えているのか。

11 幹線道路網の整備について

- 中部縦貫自動車道の全線開通、国道158号の早期改修など幹線道路網の整備は、大野市民にとって悲願であり、結の故郷（くに）越前おおのの総ブランドなどによる交流人口の拡大のためにも不可欠であるが、市長の新年度に当たっての意気込みは。

12 地域公共交通について

- まちなか循環バス、乗り合いタクシーの本格運行から2年間の実績を踏まえ、来年度以降の利用拡大に向けどのような考えを持っているのか。

13 福井しあわせ元気国体について

- 教育委員会では大野市競技力向上対策基本方針を策定し、この方針に沿って「ジュニア選手の発掘・育成・強化」「指導者の確保・資質向上」などに取り組むことについて市長の思いは。

質問者	質問概要
永田（新風おおの）	<p>1 教育改革について</p> <p>○ 安倍晋三首相の下で、教育再生実行の計画が次々と打ち出され、滋賀県大津市の中学生いじめ自殺事件を契機に教育制度改革の必要性が求められてきた。教育長、教育委員長と自治体の長との権限についてと教育の中立と安定性をめぐる対立と日本の子どもたちに自国への誇りを持たせたい安倍首相が領土問題を強調する学習指導要領改定など現行制度の抜本的な改革を表明したとされているが、現在ほどのような状況か。</p>
	<p>2 第七次大野市行政改革大綱について</p> <p>○ 第六次大野市行政改革大綱は、平成22年の民主党政権下で策定され、改革の転換期や景気不況下で基本方針を定め、簡素で効率的な行政システムの確立や将来にわたる行政運営に努めるとされていた。今回も政権交代の後の第七次大野市行政改革大綱策定に至るまでには行政を取り巻く環境も大きく変貌を遂げているが、どのような影響があるのか。</p>
	<p>3 災害に強いまちづくりについて</p> <p>○ 近年周辺諸国との領土問題、国家間の摩擦からミサイル攻撃を受ける事態、鳥インフルエンザ等の発生、PM2.5の注意喚起段階から市民の心配や脅威は高まる一方である。これらの情報を管理し、周知方法や連絡手段など、国、県からの情報が末端まで届く仕組みを構築しなければならないのではないか。</p>
	<p>4 鳥獣害のない里づくりについて</p> <p>○ 近年、市街地にまでイノシシ、ニホンシカ、クマ、サルに加え、外来種のハクビシン、アライグマが出没し、農林産物の被害から人的被害にまで及ぶことが懸念される。害獣、害鳥の種類や個体数が把握できれば、今後の取り組みにもつながる。また、県や猟友会との連携により対応されていると聞くが、現状は。</p> <p>○ 全国的に猟友会の高齢化や後継者不足が問題となっており、警備保障会社等の民間にわな等の狩猟免許を取得させる新たな取り組みを試みる自治体が紹介されているが、大野市における対策は。</p>
	<p>5 定住の促進について</p> <p>○ 「産業が元気」の基本目標である「越前おおのの魅力あふれる活力あるまち」のうち、越前おおの定住促進事業として、転入者や40歳以下の在住者の住宅購入補助やリフォーム補助等のほか、主な事業と取り組みは。</p>
	<p>6 雇用の確保と働く環境の整備について</p> <p>○ かねてから懸案であった小山工業団地へのタニコー株式会社の進出決定により従業員20人の雇用が見込め、また再生可能エネルギーの取り組みとしての木質バイオマス発電所の建設決定は従業員26人と関連雇用も数十人見込めるとのことで、今後の雇用確保にも期待するものであるが、所見は。</p>

質問者	質問概要
本田(新生おおの)	<p>1 市長2期8年の自己総括と今後4年間の具体策について</p> <p>○ 12月定例会で3選に向けて出馬表明されたが、市長自身は2期8年の任期をどのように自己総括し、今後4年間の具体策をどのように描いているのか。</p>
	<p>2 平成26年度予算案について</p> <p>○ 平成26年度予算案に、消費税率が5%から8%に引き上げられることへの対策と景気後退への備えをどのように考慮しているのか。</p>
	<p>3 再生可能エネルギー開発と地域産業活性化の取り組みについて</p> <p>○ 発電所建設や発電所に係る雇用創出のみならず、林業従事者の増加、山林の荒廃の防止、余熱利用による農作物栽培の拡大など地域産業への効果も期待されるが、この再生エネルギー開発について、小水力発電や森林施業を円滑に進めるための構造改革特区の申請などを含めて、その方向性や具体的な取り組みは。</p>
	<p>4 消防団員の待遇見直しについて</p> <p>○ 国は、消防団員1人当たり年額報酬36,500円、1回当たり出場手当7,000円で地方交付税を算定しているが、実際の支給額は自治体が条例で定めることとなっており、全国平均では、年額報酬25,064円、1回の出場手当2,562円と算定基準を大幅に下回っている。大野市では、平均の年額報酬は19,188円、出場手当は2,500円が現状のようである。新たに85人の女性消防団員を募集し、年額報酬の平均はさらに低くなることが想像できる。</p> <p>少子高齢化が進行する中、市長の政治の基本としている市民の生命と財産を守ることを貫くのであれば、団員を安定的に確保する観点からも、県内他市の状況などにとらわれず、独自に見直す取り組みを早急に進めるべきではないか。</p>
	<p>5 組織機構改革について</p> <p>○ 昨年4月の部局や課の統廃合など組織機構の改革を進めてきているが、今後の組織機構の改革のみならず、職場環境の改善や職員の資質向上と意識改革などについてどのように考えているのか。</p>

質問者	質問概要
石塚 (新風おおの)	<p>1 人口減少対策と大野市の魅力について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口減少対策に対する総合施策会議での検討結果と平成26年度予算への反映は。 ○ 大野の魅力について <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっての魅力、働く人にとっての魅力、子育て世代にとっての魅力、若者にとっての魅力、子どもたちにとっての魅力とは ○ 「市制60周年」「結の故郷(くに)発祥祭」を契機として、これからの大野市のビジョンは。
	<p>2 職員について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の昇任並びに人事異動を実施するための基準は。 ○ 定年退職職員について <ul style="list-style-type: none"> ・定年退職職員の再任用は。 ・市に関わりのある事業団体への再就職者数は。 ○ 職員の健康管理について <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康診断受診率とその後の取り組みは。 ・職員の長期病気休暇の状況は。 ・職員1人当たりの時間外勤務時間数、長時間労働による健康の保持は。
	<p>3 スポーツ振興について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2巡目福井国体について <ul style="list-style-type: none"> ・準備の進捗(しんちよく)状況は。 ・選手の育成状況と2巡目福井国体出場選手予定(目標)数は。 ・選手、監督などの役員や応援が何人くらい大野を訪れるのか。 ・宿泊施設は。 ・市民を巻き込み、市民が関われる機会を確保する仕組みは。 ・国体開催に向け200万円の交付金制度の内容と目的は。 ○ ジュニアアスリート育成について <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学生のスポーツ競技の児童・生徒数は。 ・小学、中学と継続してスポーツ機会を生徒に提供するための運動部の活動は。 ・運動部の指導者の現状と外部指導者の受け入れは。 ○ スポーツコミッションについての見解

質問者	質問概要
<p>兼井 （新生おおの）</p>	<p>1 中学校の部活動について</p> <p>○ 近年の児童・生徒数の減少に伴い、運動部活動が1校で維持できないことから、一定のルールのもとで、合同チーム等の参加が認められているが、時間の制約や経済的な負担増の声も聞く。生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成し、仲間や教師と密接に触れ合う場としても大きな意義のある部活動の今後について、また文化系部活動について、どのように考えているのか。</p> <p>○ 部活動と、スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ「みんスポクラブ」等の社会体育団体や、公益財団法人日本中学校体育連盟や各種競技団体の全国大会との連携は。</p> <p>○ 部活動での外部講師の活用件数とその成果は。</p>
	<p>2 子ども達のお仕事体験イベントについて</p> <p>○ 昨年試験的に実施した、子どもたちが好きな仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学ぶ「子ども達のお仕事体験」の評価と本年の取り組みは。</p>
	<p>3 地域経済を活性化する仕組みづくり、優良大野ファンを育てる戦略の必要性について</p> <p>○ 結の故郷（くに）発祥祭では58の事業で観光入り込み客数193万人、経済波及効果約20億円を見込んでいるが、来年度以降の想定と戦略は。</p> <p>○ 行政が持つ大野ファン（顧客）データを越前おおのサポーター倶楽部として一元管理すべきだと考えるがどうか。</p> <p>その会員を顧客満足度でランク分けするべきではないか。</p> <p>○ 2013ヨコハマ恐竜博などの各種出向宣伝で、大野産品を販売した方へのその後のアプローチと実績は。</p>
<p>梅林 （新風おおの）</p>	<p>1 新年度からの組織機構について</p> <p>○ 平成26年度の組織機構の変更の目的と理由は。</p> <p>○ 教育委員会事務局は組織機構改革をどのように考えているのか。</p>
	<p>2 美しく豊かな自然環境を育み継承するまちについて（快適な生活環境の保全）</p> <p>○ 市民が安心して地下水を飲み続けることができるために、行政として取り組んでいることは。</p> <p>○ 上水道、簡易水道なども地下水を原水としているが、その水質保全について。</p>
	<p>3 共に思いやり、支え合う安全で安心なまちについて（障害のある人への支援）</p> <p>○ 第3次大野市障害者計画の成果と今後一体的に策定される障害者計画、障害福祉計画への課題は。</p> <p>○ 奥越特別支援学校の開校から1年が経過するが、通学する児童・生徒の現状と、市との連携及び支援は。</p>

質問者	質問概要
畑中(双葉会)	<p>1 前へ次へ先への市政になっていないのでは</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ あっ宝んどの入浴料値下げの件は。 外のベンチや東屋・植栽が有効利用されていないがどうするのか。 ○ 結とびあ多目的ホールの天井や床の補修、バスケットコートofのルール改正によるラインの塗り替えはしないのか。 ○ スポーツ施設の利用料を見直し、若者のスポーツ振興を後押しするべきでないか。 (勝山市は人数に関係なく半日1コート100円、グラウンドは無料) ○ 除雪の体制・出動において問題はないのか。(2月8日の積雪対応に疑問を感じた。)
	<p>2 女性の力を活かした町づくりについて</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の体力づくりを、女性消防団やスポーツ愛好者とコラボさせ女子スポーツの町としてブランド化しては。 ○ ブランド大使 大野 忍氏の活用は。 ○ 女子サッカーで町の活性化を図り、大会開催などで地場産品のPRや売上増につなげる案は。
	<p>3 税金の使い方について</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 七間朝市を定期的に大規模・多業種に拡大して集客を図るべき。早く行政が介入すべきでは。 ○ 住民提案をベースに市民主導型の市政にした方が市民の理解が深まるのでは。 ○ 結の故郷(くに)発祥祭事業のまちなか食べ歩き交流事業に1,200万円が予算化されているが、事業の詳細、予算額、費用対効果は。

質問者	質問概要
榮 (日本共産党・大野市議団)	<p>1 TPPを前提とした農政「改革」について</p> <hr/> <p>○ 安倍内閣は企業が一番活動しやすい国づくりを公言し、効率や市場競争を最優先する内閣の経済政策は、食料、農業、農村政策の分野でも農業に壊滅的打撃をもたらすTPPへの暴走とそれを前提とした農政「改革」を矢継ぎ早に打ち出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地中間管理機構の創設について ・ 経営所得安定対策の見直しについて ・ 水田フル活用の見直しについて ・ 日本型直支払制度の創設について <p>○ 越前おおの型 食・農業・農村ビジョンの数値目標の到達状況は。</p>
	<p>2 企業誘致政策について</p> <hr/> <p>○ 大野市の企業誘致政策の出入りの実績は。</p> <p>○ 企業誘致政策の地域経済に及ぼす利点と欠落点は。</p> <p>○ 企業誘致政策は、あくまでも地域づくり政策、産業振興政策の方法だと思うがどうか。また、地域振興の要は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の産業・企業を発展させる。 ・ 地域に現存しないが必要な産業、企業を地元の力で創出する。 ・ 地域の外から企業を誘致する。

質問者	質問概要
<p>藤堂 (公明党)</p>	<p>1 教育問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「生きる力」から「生き抜く力」とはどのような力か。 ○ 「動く教育委員会」「開かれた教育委員会」とはどのような委員会か。 ○ いじめ防止対策研究委員会ではどのようなことが議論されているのか。 ○ 市におけるいじめの状況等はどのようになっているのか。 ○ 全国学力テストの県内市町の公表状況はどのようになっているのか。 ○ 全国学力テストの公表はなぜできないのか。 ○ 国が一部条件付きながら公表に踏み切った理由についてどのように考えているのか。 ○ 地方教育行政法改正案が国で議論されているが、市の教育委員会はどのように考えているのか。
<p>浦井 (日本共産党・大野市議団)</p>	<p>1 消費税増税で家計、中小経営は大打撃になるのでは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年収階層別の消費税負担額と年収に対する割合は。 ○ 増税は、低所得者ほど負担増になり、商店や中小企業の営業に深刻な影響を与えるのでは。 ○ アベノミクスで景気が回復し、2014年度は経済状況が良くなっていくと考えるか。 ○ 消費税増税分4兆5,000億円は、社会保障に充てると宣伝してきたが、社会保障関係費の増加は1兆円に過ぎない。増加分の残りはどこに回ったのか。 ○ 消費税増税で市の使用料、手数料を改定するものとその影響額は。 <p>2 生活保護基準引き下げの影響について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市で生活保護基準を参照して金額の改定を行っている事業は何か。 ○ 生活保護基準見直しにより保護廃止となる人の対象事業は何か。 ○ これらの事業で昨年8月以降に対象になった人はいるのか。 ○ 就学援助制度や特別支援学級就学奨励費の対象から外れた児童・生徒はいなかったか。 ○ 就学援助制度への影響が出ないよう基準を見直したか。 <p>3 木質バイオマス発電所建設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 誘致企業が株式会社神鋼環境ソリューションになった経緯は。 ○ この建設計画の事業費、運営計画等を示すべきではないか。 ○ 国、県、市の支援計画は。

質問者	質問概要
高岡(双葉会)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年度の予算案は、今までにない大型予算で、骨格ではない本格予算になっているが、骨子、基本コンセプトは。 ○ 平成27年度には、旧和泉村編入から10年になり合併特例処置期限がなくなると思うが、交付税等に大きな変化はないのか、今後の和泉地区についての考え方は。 ○ ここ近年大型箱もの行政が続いているが、社会保障費、医療費、子育て支援、住民サービス等に支障を来すことはないのか。 ○ 市街地活性化の基本は何と考えるか。 ○ 当市の休日急患センターの大規模改修が終了し、新型インフルエンザ、パンデミック時におけるエマージェンシー対応については分かるが、市民に対する緊急日常医療の充実はどうなのか。
	<p>2 教育長の姿勢について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育環境を取り巻く現状は、昔と違い大きく様変わりしているが、どのように認識しているのか。 ○ 新聞等を活用した教育の当市における現状をどのように受けとっているのか、その成果はどのようなところに現れているのか。 ○ 視聴覚ライブラリーを廃止した現在の図書館の現状及び利用状況等は。